

# 2012年1月 地域自然情報研究会

## 日本酒文化と自然との関わり

金子 是久 氏 (北総生き物研究会)

日本酒は、弥生時代から約2,000年続いている伝統食文化であり、その原料の米、水、微生物、産地の気候風土、杜氏の技、酒林(杉玉)、酒器、飲酒方法などは日本特有の文化である。また、米麴を用いた発酵酒は、日本独自の醸造方法でもある。

日本酒は、古くからその地域の郷土料理とともに嗜好品の一つとして親しまれてきた地域の文化であり、その品質は、良質な酒米、地域の豊かな自然環境(森・砂丘など)により育まれた水および気候風土が大きく影響している。

今回の講演では、日本酒の造り方、歴史、酒蔵の周辺環境および訪問体験を基に、地域の人々に親しまれてきた日本酒文化と自然との関わりについて紹介する。



### 開催日時

2012年1月22日(日) 14:00~15:30

### 参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

### お申し込み・お問い合わせ

お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレスをご記入の上、下記までご連絡下さい。

mail: [gcnken@gmail.com](mailto:gcnken@gmail.com)

FAX: 03-3260-3795

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局  
(担当: 井本・梶並)

### 会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室  
(エコギャラリー新宿)



### 地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人  
地域自然情報ネットワーク  
The Geocological Conservation Network

**NPO法人地域自然情報ネットワーク (GCN) は  
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します**

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。  
<http://www.geo-eco.net/index.html>